官報

第七拾六號　　明治十六年九月二十七日　　木曜日

太政官文書局

○達

○內務省乙第三拾八號

國庫下付金及地方稅受ケ入レ金ヲ以混一ノ上罪囚ノ刑期ニ區分シ十四年內務大藏兩省達乙第三拾四號計算法ニ照據購入セシ監房常置ノ器具ヲ始メ戒具雜具等不用物品賣拂代金及看守罰俸金等納入方ノ儀國庫地方ノ區分計算ニ據ラス十五年度以降集治監ニ生セシモノハ總テ國庫ヘ收入シ警視廳及府縣ニ生セシモノハ地方稅ヘ收入セシメ候條此旨相達候事

明治十六年九月廿七日

集治監　樺戸空知三池（ノ三監ヲ除ク）　警視廳

府縣　東京府及沖繩函館札幌根室縣ノ五廳ヲ除ク

內務卿山田顯義

○大藏省達第六拾四號

明治十三年九月當省乙第三拾二號達稅表調理順序中左ノ通加除更正ス此旨相達候事

明治十六年九月廿七日

大藏卿松方正義

第二項

一稅表ノ下（割註以下免稅船員數表）迄ノ二十六字ヲ創リ列記シノ下ヘ（地稅表ハ國限合計ヲ附ス）ノ數字ヲ加フ

第五項

一事故アリ改租未濟ノ地アル向ハ多少ニ不拘稅表合計ノ次（郡區ノ部ヨリ始ム）ニ一欄若クハ數欄ヲ附加シ上ニ其地目反別ヲ揭ケ下ニ未濟ノ事由ヲ簡明ニ記入スヘシ尤其附加セシ罫畫ハ改租未濟地ノ畫ルヲ期シ刪除スル

府縣（沖繩縣ヲ除ク）

本文

モノトス

但改正丈量未濟ノ地ハ舊反別其反別ノ不詳モノハ筆數而已ヲ載セ反別未詳ト記スモ妨ケナシ

一稅表其他差立期限表中地稅表幷ニ地稅增減對照表翌年一月三十一日限トアルヲ三月三十一日限ト改ム

○陸軍省甲第三拾五號

今般太政官達第三十七號ヲ以テ陸軍恩給令改正下士服役年齡四十歲ト相成候就テハ下士服役規則第七條但書ニ據リ再服役中ノ者ハ定規三ケ年ニ至ル迄引續服役爲致又留任中ノ者ニテ再服役望願ノ者ハ此際出願可爲致旨陸軍一般ヘ相達候條爲心得此旨相達候事

明治十六年九月二十七日

陸軍卿代理
參事院議長山縣有朋

○陸軍省乙第九拾九號

今般太政官達第三拾七號ヲ以テ陸軍恩給令改正下士服役年齡四十歲ト相成候就テハ下士服役規則第七條但書ニ據リ再服役中ノ者ハ定規三ケ年ニ至ル迄引續服役爲致又留任中ノ者ニテ再服役望願ノ者ハ此際出願可爲致此旨相達候事

明治十六年九月二十七日

陸軍卿代理
參事院議長山縣有朋

○海軍省丙第八拾五號

明治九年九月丙第三號省達各局事務章程第一章第一條軍務局ノ部第三項中退隱ノ二字ヲ（恩給）ト改ム此旨相達候事

明治十六年九月廿七日

海軍一般
海軍卿川村純義

○告示

○大藏省告示第九拾二號

金祿公債證書

五百圓　丙波號　四八四壹番

壹枚

右者靜岡縣士族松井嘉友所有ノ處同縣士族高瀨保壽ヘ預ケ中本年五月ヨリ八月廿五日迄ノ間保壽宅ニ於テ紛失ノ旨屆出候條以後右證書一切取引ヲ爲ス可カラス且其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ヘ訴出管轄廳ヨリハ即當省ヘ可屆出此旨告示候事

明治十六年九月廿七日

大藏卿松方正義

○大藏省告示第九拾三號

第百八國立銀行跡引受人馬場太郎右衞門

右願ニ依リ跡引受人差免シ候條此旨告示候事

明治十六年九月廿七日

大藏卿松方正義

○賞勳敍任

○明治十六年九月廿六日

敍勳一等贈進旭日大綬章　メックレンブルヒ國公子

敍勳一等贈旭日大綬章　ジョンアルベルト殿下
獨逸國皇帝陛下ノ特命全權公使

敍勳一等贈與旭日大綬章　グラーフフオンデンホッフフライヘル
フオンシラーフト

敍勳四等贈與旭日小綬章　孛漏西國貴族近衞騎兵少尉

敍勳四等贈與旭日小綬章　グランフオルレーエルストルプフ
孛漏西國貴族後備兵衞騎兵少尉

敍勳四等贈與旭日小綬章　パロン　フオン　チーレ

○明治十六年四月廿七日

敍勳六等賜與單光旭日章　侍從從四位東園基愛

○明治十六年九月十七日

敍正七位　從七位　野副　勤有

敍從七位　正八位　春日井尚古

敍從七位　正八位　平川　楨

敍從七位　正八位　三浦　峯高

○警視廳東京府布達

○警視廳東京府甲第五拾六號

明治十四年二月甲第二十七號布達第二條以下左ノ通改正ス

但第二條第四條ノ年限ハ當初布達ノ月ヨリ起算ス

第二條

第一條ニ記載セル線路ニ於テ築造ノ建物ハ煉化石造土藏造及ヒ石造ノ三種ニ限リ猶左ノ各項ニ從フヘシ

第一　煉化石造ハ周圍ノ煉化石一枚半積以上石造ハ周圍ノ石厚サ八寸以上土藏造ハ周圍ノ壁厚サ柱外三寸以上タルヘシ

第二　家屋ノ出入口及ヒ窓ハ土戸又ハ銅鐵等不燃質ノ材料ヲ用ユヘシ

第三　路線ニ沿フタル墻塀又ハ路次口戸締等ノ構造ハ總テ不燃質ノ材料ヲ用ユヘシ

第 976 号

第二條
第一條ノ線路ニ於テ現在ノ建物第二條ノ制限ニ適セサルモノハ二ケ年内ニ改造又ハ修補スヘシ
但柵萱等ハ一ケ年ヲ期トス
第四條
日本橋區京橋區（但島石川神田區神田川以北ヲ除ク）神田區（麹町區ニ於テ新築ノ家屋庇物置雪隠等ノ別ナシ）ハ瓦石金屬等ノ不燃質物ヲ以テ屋上ヲ修葺スヘシ
但現在ノ家屋ニシテ本條ニ適セサルモノハ二ケ年限リ改修スヘシ
第五條
火災等ニ罹ルモノハ二十日内ニ仮家作（屋上ニ板又ハ柿板ヲ用ユルモノヲ云フ）ヲ建設上陳ヲスルヲ得ヘシト雖モ罹災後一ケ年ヲ限リ改造スヘシ期トス
但罹災後二十日ヲ過キ仮家作ヲ設ケントスルモノハ第十條ニ依ルヘシ
第六條
裏家アル地内ノ路次幅ハ都テ六尺以上ニ取設ケ門戸柵等ヲ搆造スルモ通路ヲ狹ムヘカラス
但現在六尺ニ滿タサル路次ハ其地ノ建物新築又ハ改造ノ時之ヲ改ムヘシ
第七條
京橋ヨリ新橋ニ至ル煉化石家屋建築地區域内防火線外ニアル道路沿ノ家屋ハ石造煉化石造土藏造又ハ塗屋造ニ爲シ其入口及ヒ窓等ノ外部ハ不燃質物ヲ以搆造スヘシ尤塗屋ハ周圍ノ壁厚サ柱外八分以上タルヘシ
第八條
官有ノ河岸地ニシテ第一條ニ揭ケサル場所ニ於テ建物ノ搆造ハ都テ河岸地ノ規則ニ依ルヘシ
第九條
第二條以下ノ建物ヲ新築シ若クハ改造スル時ハ豫シメ兩廳長官ニ宛タル届書ヲ府廳ヘ差出シ仍ホ落成後三日内ニ更ニ届出檢査ヲ受クヘシ
但第五條ノ仮家作ハ罹災後二十日内ニ届出ヘシ若シ期日内ニ届出サルモノハ仮家作トナスヲ得ス
第十條
建物新築又ハ改造等ノ爲メ仮家普請小屋又ハ上ハ屋等ヲ設クヘキモノハ場所坪數幷ニ取拂ノ期限ヲ定メ兩廳長官ニ宛タル願書ヲ府廳ニ差出シ許可ヲ受クヘシ
第十一條
建物ノ搆造制限ニ適セサルモノハ期日ヲ定メテ改造ヲ命スヘシ
第十二條
改造ヲ命シタル建物ヲ期日内ニ改造セサルモノハ取毀ヲ命スヘシ
但取毀ヲ命スルモ仍ホ履行セサルモノハ直ニ之ヲ取毀チ其費用ヲ追徴スヘシ
右布達候事

警視總監樺山資紀代理
警視副總監綿貫吉直
東京府知事芳川顯正

○東京府布達

○東京府甲第五拾四號
酒造營業人心得書別紙之通制定ス

右布達候事
明治十六年九月廿七日　東京府知事芳川顯正

○東京府甲第五拾五號
自家用料酒類製造者心得書別紙之通制定ス
右布達候事
明治十六年九月廿七日　東京府知事芳川顯正

○東京府達

○東京府丙第百四拾八號　郡區役所
嚴手縣及山形縣郡長委任條件左ノ通改正候旨各縣廳ヨリ通知有之候條此旨相達候事
明治十六年九月廿七日　東京府知事芳川顯正

岩手縣郡長委任條件第七項
救會所設置及教導職撰擧肯否入法等ノ義ニ付各宗管長又ハ取締ヘ應答スル事
山形縣郡長委任條件
第一　郡役所ノ處務順序ヲ定ムル事
第二　郡書記以下ノ事務分掌及ヒ管内出張ヲ命スル事
第三　左ニ列記シタルモノヽ除服達並歸省裸體入浴願及ヒ忌引届等ノ事
郡書記以下
戸長浦役人
町村立中小學校長教諭訓導以下
學務委員
衞生委員
郡醫
官林看守人
第四　左ニ列記シタルモノヽ進退ノ事
但シ懲戒例ニ關スルモノハ此限ニアラズ
郡役所用係八圓以下雇
町村立學校授業生
遊路世話掛
民林世話掛
第五　戸長代理届ノ事
第六　戸長用掛印鑑及改印届ノ事
第七　用掛ノ進退ヲ戸長ノ具申ニ依リ許否スル事
第八　郡書記戸長ノ出勤簿調査ノ事
第九　郡役所定額内經費支出ノ事
第十　郡廳舍定額内修繕ノ事
第十一　郡役所掲示場定額内修繕ノ事
第十二　郡役所ノ不用物品賣拂ノ事
第十三　戸長撰舉會ノ事
第十四　戸長ノ事務引繼管理ノ事
第十五　戸長役場ノ經費（地方税ヨリ支辨スルモノ）ヲ管理シ精算帳ヲ檢査シ認可狀ヲ附與スル事
第十六　戸長役場ノ位置移轉等伺ノ事
第十七　戸籍ノ異動加除ノ事
第十八　戸籍上ノ誤謬訂正願ノ事
第十九　戸籍謄本ノ者入籍願ノ事

第976号

第二十　改姓名願ノ事
第廿一　絶家再興及分家願ノ事
第廿二　家名慶絶願ノ事
第廿三　廢嫡及廢嫡ニ準スル諸願ノ事
第廿四　廢嫡者等復舊願ノ事
第廿五　養嗣子離縁復籍等願ノ事
第廿六　入夫願ノ事
第廿七　尊族親復籍等願ノ事
第廿八　家女離縁願ノ事
第廿九　逃亡失踪及復歸人居ノ事但シ徵兵ニ關スルモノハ此限ニ在ラス
第三十　神佛開扉及臨時ノ祭典法會等願ノ事但シ國幣社ハ此限ニアラス
第三十一　縣社以下並寺院佛堂等再建修繕願ノ事但シ延喜式內國史見在ノ神社及ヒ四百年前ノ建物ハ此限ニアラス
第三十二　社寺外ニ於テ說教願ノ事
第三十三　氏子替轉宗改檀葬祭改式等屆ノ事
第三十四　祠官祠掌及住職他行屆（社用私用）願（用）ノ事
第三十五　祠宮祠掌除服ノ事
第三十六　公園保管ノ事
第三十七　郡界標建設ノ事
第三十八　官林內松茸雜菌及晩笞拂下ノ事
第三十九　官林伐木及副產物等拂下許可ノ者ヘ入林鑑札下渡ノ事
第四十　部分木證券料徵收ノ事
第四十一　度量衡檢查ノ事
第四十二　制限內度量衡賣捌所願ノ事
第四十三　菰燈販賣願ノ事
第四十四　水車搆造及買賣讓與願等ノ事
第四十五　急破堤防築止ノ爲メ三等官林以下ノ竹木臨機伐採ノ事
第四十六　破堤臨時防禦ノ事
第四十七　往還並木ノ枯損木處分ノ事但民有ニ屬スルモノハ此限ニ在ラス
第四十八　道路ニ接シタル屋舍營繕認許ノ事
第四十九　地方稅支辨ニ屬スル道路ノ橋梁洪水等ノ爲メ流落セシトキ一時換路假橋又ハ渡船ヲ設クル事
第五十　地方稅補助及ヒ其他ノ道線ニ橋梁破損流落等ノ爲メ一時假設スル渡船賃認許ノ事
第五十一　道路各町村ノ掃除丁場ヲ定ムル事
第五十二　協議費支辨ニ屬スル道路堤防橋梁及ヒ堰樋溜池用惡水路等修繕願ノ事
第五十三　道路（國縣道ヲ除ク）修繕ニ付車馬通行止メノ事
第五十四　人畜傷染病發生ノ節臨機豫防ノ事
第五十五　氷雪販賣願ノ事
第五十六　賣藥請賣及行商願ノ事
第五十七　貧民施療ノ事
第五十八　國稅又ハ免許料アル諸營業願ノ事但シ賣藥ハ此限ニアラス
第五十九　地券下付及書換裏書等ノ事
第六十　印刷損書損及不用地券賣却ノ事
第六十一　民有ノ地所分裂及合併願ノ事

第六十二　舟車檢印及船鑑札下渡ノ事
第六十三　諸拜借料幷拂下代金ヲ徵收スル事
第六十四　官有地ヲ一時與行等ノ爲メ貸渡ノ事但道路森林ハ此限ニ在ラス
第六十五　官有地內ニ建設シタル民有家屋等書入質入ノ節奧書ノ事
第六十六　人民ヘ諸貸下金取立ノ事
第六十七　町村立學校ヘ舍增築模樣替等伺ノ事
第六十八　貧困者ノ學齡兒童就學ノ方法ヲ設クル事
第六十九　町村立學校內ニ夜學ヲ設クル事
第七十　町村立學校休暇期日授業時間繰替及臨時休業ノ事
第七十一　町村立學校定期試驗ノ事
第七十二　備荒儲蓄ノ籾藏ヲ管守シ及ヒ番衞等ニ關スル定額內ノ經費支出ノ事
第七十三　地方稅ヲ賦課スル諸營業組ノ事但別段成規アルモノハ此限ニアラス
第七十四　地方稅支辨ニ屬スル堤塘等借用料及ヒ使用料徵收ノ事
第七十五　賦金徵收ノ事

○東京府丙第百四拾九號

明治十四年當縣乙第八拾貳號達國稅金領收順序附錄中左之通更正相成候條此旨相達候事

明治十六年九月廿七日　東京府知事芳川顯正

第二項改正

一共不納者ノ處分ヲ爲シテ徵收シタル稅金ハ郡區長ニ於テ別紙第二雛形ノ通リ切符ヲ作リ其金額ヲ大藏省爲換方ヱ相預ケ預リノ証印ヲ受ケ之ヲ不納額帳ヘ式ノ如ク記入シ其旨ヲ戶長ニ通告シ該切符ハ租稅局出張所長ニ送付スヘシ

第二雛形中

「則上納」ノ二字ヲ刪除

「何郡何村戶長何ノ誰」トアルヲ「何郡區長何ノ誰」ト更ム

郡區役所　戶長役場

○東京府丙第百五拾號

一諸稅監查員提携印章　第貳五壹五九號　壹枚

但照合用ノ二字朱印ス

右ハ愛媛縣桑村郡大野宮ノ內村戶長役場備置ノ處紛失ノ趣ニ付發見ノ節ハ速ニ屆出ヘシ此旨相達候事

明治十六年九月廿七日　東京府知事芳川顯正

郡區役所　戶長役場

○東京府丙第百五拾壹號

諸稅監查員提携印章　第二六一五〇號　壹枚

但照合用ノ二字朱印ス

右ハ鹿兒島縣姶良郡北山水津志兩村戶長役場備置ノ處昨十五年十二月中紛失

諸稅監查員提携印章　第二八五〇〇號　壹枚

但照合用ノ二字朱印ス

右ハ札幌縣幌泉郡幌泉警察署ヘ渡置ノ處本年七月中紛失

諸稅監查員提携印章　第二〇三〇六號　壹枚

但照合用ノ二字朱印ス

右ハ福島縣標葉郡小野田村外五ヶ村竈戶長役場備置ノ處紛失

前書之通ニ付所在發見ノ節ハ速ニ可屆出此旨相達候事

明治十六年九月廿七日　東京府知事芳川顯正

○警視廳告示

○警視廳告第拾五號

本年月第五號告示御遊獵場區域內東京府管轄ニ係ル地ハ自今被差除候

右告示候事

明治十六年九月廿七日　警視總監樺山資紀代理
警視副總監綿貫吉直

○宮廷錄事

○昨二十六日獨逸聯邦メクレンブルヒスキウレン國大公第三公子ジヨンアルベルト殿下幷ニ獨逸國特命全權公使ル、コント、ド、ドンホフヘ勳章親授アラセラレタリ其ノ次第ハ當日午前十時アルベルト殿下參內セラレ式部頭御車寄迄出迎ヘ休息所ヘ誘引シ暫クシテ　聖上出御アラセラレケレハ吉田外務大輔鍋島式部頭殿下ヲ導キ謁見所ニ進ム　聖上ニハ少シク御出迎アリテ斜ニ殿下ト御對立(是ヨリ先キ親王大臣參議賞勳局正副總裁主事秘書等着場ス)勅語アリテ勳章ヲ殿下ニ親授シ給ヒ畢リテ公使ヲ御前ニ進メ又之ニ親授シ給ヒ一同御前ニ向ヒテ拜シ畢リテ殿下以下悉ク休息所ニ退カル此ノ時總裁ヨリ殿下及公使ニ勳記ヲ授ク殿下退出ノ節ハ親王大臣以下一同御車寄マテ送ラレタリ

○一昨二十五日午后一時左ノ十名ハ米國公使ジヨン、エ、ビングハム及譯官ダフリユエン、ウイトニー同伴ニテ參內シ共ニ內謁見ヲ仰付ケラレタリ

米國亞細亞艦隊司令官海軍少將　ペールスクロス、ビイ

同屬員合衆國海軍

同　カピテーン、チーフ、オフ、スタツフ、セー、エス、スケレツト

同　チーフ、エンジヲル、フリート、エンジヲル、ビインチ

同　カプテーン、フリート、マリン、オフイサー、エフ、エチ、ユルリー

同　リユーテナント、フラグ、リユーテナント、ダブリユエル、フイルド

同　リユーテナント、セクレタリー、マリツキフ

同　チヤプレーン、チ、エ、クロウフオルド

同　リユーテナント、エチ、エー、メーソン

同　リユーテナント、デー、エー、デー、ダフリユ、ウヰーダー

同　パツシダ、アツシスタント、ゾルゼオン、シー、ヒツトル

○官廳彙報

○樺山警視總監ハ東北諸縣ノ巡回ヲ了リ一昨廿五日歸京シタリ

○去ル二十三日玉川上水檢査ノタメ出張セシ勞川東京府知事ハ一昨廿五日歸廳シタリ

○襄ニ療病ノタメ攝州有馬溫泉ヘ入浴ニ赴キタル編修副長官重野安繹ハ本月廿五日歸京シタリ

○宮崎縣令田邊輝實ハ管內巡回ノタメ昨二十六日發程セリ(宮崎縣電報)

○千葉縣令船越衛ハ本月廿二日管下望陀郡公立市場學校開業式ヘ臨場シ目下歸路沿道道路ノ檢分中ナリ又同縣警部長木間瀨柔二ハ同日縣令代理トシテ同管下香取郡佐原村私立松浦病院ノ開業式ニ臨席シ翌廿四日歸廳シタリ(本月廿五日付千葉縣報告)

○山形始審裁判所詰檢事山川德治ハ本月二十四日上京シタリ

○東京大學教授穗積陳重ハ病氣ニ付願濟ノ上往復トモ十日間豆州熱

海ヘ湯治ノタメ昨二十五日發程シタリ

○本月廿四日海軍五等教官高須碌郎ハ左ノ通仰付ケラレ手當トシテ一箇年金二百圓下賜セラルヽ旨達セラレタリ

文部省御用掛兼勤被仰付候事　海軍五等教官高須碌郎

○襄ニ願濟葬ノタメ群馬縣下ヘ旅行シタル農商務省准奏任御用掛山本譲介ハ一昨廿五日歸京シタリ

○褒賞

○靜岡縣遠江國敷知郡舞坂宿平民奎谷清一郎ハ昨明治十五年七月三十日環洋社所有汽船明進丸船長伊東工三及水夫貳拾壹人其ノ他乘客廣島鎭臺陸軍步兵少尉竹本政太郎及兵卒其ノ他百餘名乘組同日午後六時過同國濱名港口ヲ出ルヤ否ヤ激浪ノタメ汽器ヲ損破シ進退自由ナラス將ニ覆沒セントスルニ方リ濱松警察署詰巡查竹本釭藏ト倶ニ自己ノ危難ヲ顧ミス手船ヲ出シ風濤ヲ凌キ乘組人ヲ救援セシヲ以テ同縣令ヨリ具申シ左ノ褒章ヲ賜ハリタリ

靜岡縣遠江國敷知郡舞坂宿
奎谷清一郎

明治十五年七月三十日靜岡縣遠江國濱名港沖合ニ於テ同國山名郡福田港環洋社所有汽船明進丸暴風激浪ノ爲メ將ニ覆沒セントシ乘組數十人死ニ瀕スルヲ認メ自己ノ危難ヲ顧ミス率先衆ヲ指揮シ之ヲ救濟ス依テ明治十四年十二月七日　勅定ノ紅綬章ヲ賜ヒ其善行ヲ表章ス

賞勳局總裁正四位勳二等　柳原　前光

元老院議官兼賞勳局副總裁從四位勳二等　大給　恒

○本日ノ達欄內ニ掲載セル大藏省達第六拾四號參照ノタメ明治十三年同府乙第五拾壹號達本文ヲ左ニ節錄ス

乙第三拾貳號稅表調理順序中第二項

一稅表(地稅其他諸稅)及ヒ酒類釀造營業人員幷石高表免稅舩員數表ハ郡區限雛形ニ倣ヒ之ヲ列記シ末尾ニ府縣全管ノ總計ヲ揭ケ自餘各種ノ表面ハ府縣全管ノ總計ヲ舉ケヘシ

但郡區ノ所轄多數ニテ紙返シニナルトキハ㋑印アル標目ニ限リ其紙返シノ首位ヘモ標目揭舉スヘキモノトス

同第五項

一事故アリテ改租未濟ノ地アル向ハ多少ニ不拘其事由ヲ記シ地稅表ニ副ヘ進達スヘシ

乙第五十一號　府縣(沖繩縣ヲ除ク)

客年當省乙第三十二號達稅表調理順序第二項郡區役所ヲ轄限リトアルヲ郡區限ト改メ第四項五項ノ間ヘ左ノ二項ヲ挿入シ(以下略ス)

○本日ノ達欄內ニ掲載セル海軍省丙第八拾五號達參照ノタメ海軍省各局事務章程中軍務局ノ部第三項ヲ左ニ揭ク

第三　將校以下ノ名籍下士以下ノ履歷及非役文武官員ニ關スル事務其他退隱(○○)令家族扶助金等ノ事ヲ掌ル

○本日ノ東京府丙第百四拾九號達參照ノタメ明治十四年同府乙第八拾貳號達第二項ヲ左ニ揭ク

一其不納者ノ處分ヲ爲シテ徵收シタル稅金ハ戶長ニ於テ別紙第二雛形ノ通リ切符ヲ作リ其金額ヲ大藏省爲換方ヘ相預ケ預リノ証印ヲ受ケテ郡區役所ヘ上納ス可シ郡區長ハ之ヲ得テ其金額ヲ不納額帳ニ照合シテ領收証ヲ交付シ切符ハ收稅委員ニ送付スヘシ

本文 976

○正誤

○官報第七拾四號告示欄内工部省告示第拾六號中、二百四十五度ハ、二百三十九度北七十五度西ハ北七十二度西南十度東ハ南十三度東ノ誤ナリ

明治十六年九月廿七日　工部書記官

○官報第七拾四號官廳彙報欄内ニ揭載シタル神奈川縣警察本署新築工事着手事項ニ係ル同縣報告原稿中警察本署ノ下ニ「及縣會議事堂」ノ六字ヲ脫ス

○兵事

○放火演習（陸軍省報告）　近衞歩兵第一聯隊修業兵ハ明二十八日小石川練兵場ニ於テ放火演習ヲ施行シ又東京鎭臺野砲兵第一大隊ハ同日午前同練兵場ニ於テ大砲空放演習ヲ施行スル筈ナリ但シ當日雨天ナレハ施行セス

○軍艦出入（海軍省報告）　孟春艦ハ去ル廿四日馬關ヲ拔錨シ歸航スル旨電報アリ又金剛艦ハ一昨廿五日橫須賀ヲ發シ猿島沖ニ於テ羅針ノ鉄差ヲ糺シ同日橫濱港ニ回航セリ又同日筑紫艦ハ艦底檢查ノタメ橫須賀造船所第一船渠ニ入レリ

○學事

○文部省學生派遣（文部省報告）　今般文部省ニ於テ福井縣士族理學士中澤岩太（製造化學修業ノタメ）愛知縣士族製藥士下山順一郎（製藥學修業ノタメ）兩名ニ各二箇年間獨逸國留學ヲ命シ中澤岩太ハ伯林府大學及近傍製造場ニ於テ修業シ下山順一郎ハストラスブルグ府大學ニ於テ修業スヘキ旨ヲ訓令シ本月廿三日各々橫濱港ヲ出發シタリ

○茨城醫學校生徒卒業免狀授與（茨城縣報告）　本月廿二日茨城縣茨城醫學校ニ於テ卒業生徒拾八名ニ免狀授與式ヲ擧行スルニ付同縣令八見寧、同大書記官相原安次郎ハ學務衞生ノ各課員ヲ隨ヘテ臨場シ午後二時式ヲ始メ縣令祝詞ヲ朗讀シ次テ各員ノ祝詞アリ同三時半式畢ル此ノ日縣官ノ外席ニ列セシモノハ東茨城郡長、師範中學兩校教諭常置委員、地方開業醫等ニテ總人員二十餘名ナリ

○新潟縣學校補助金（新潟縣報告）　新潟縣二島郡與板公立小學與板校ハ去ル七月廿五日同町火災ノ節燒失セシニ因リ今般縣廳ヨリ同學校再建築書籍器械費ノ內ヘ金二百圓補助シタリ

○衞生事項

○虎列拉病患者集報

（警視廳報告）　東京府南葛飾郡淨田村百拾七番地平民土屋金次郎（二十八年）ハ本月九日虎列拉病ニ罹リ二十五日全治セリ

（神奈川縣報告）　神奈川縣相摸國高坐郡上鄕村平民農鍵渡金左工門（三十九年）ハ本月廿一日虎列拉病ニ罹リ治療中ナリ

（和歌山縣報告）　和歌山縣有田郡箕島村中川總兵衞（三十六年一ヶ月）ハ本月十三日類似症ニ罹リ治療中ナリ

（大阪府報告）　大阪府西成郡中島新田平民大塚汝三郎（五十八年七ヶ月）ハ本月十七日類似症ニ罹リ即日死亡同北區富田町寄留山口縣平民松尾藤一郎（三十七年）ハ本月二十日類似症ニ罹リ治療中ナリ

○外報

○英國小荷物郵便規則（八月二日付在英國公使館報告）　英國內地ニ於テ郵便ヲ以テ小荷物運搬ノ便ヲ開クコトハ公衆ノ之ヲ渴望スルコト既ニ久シカリシカ異論紛々トシテ容易ニ施行ノ期ニ至ラサリキ玆ニ其ノ異論ノ要點ヲ擧クレハ曰ク私立運送會社ノ營業ヲ害スル事曰ク鉄道會社ヲ妨クル事曰ク市府內ノ運送ハ容易ニシテ收益亦當ニ少カラサルヘシト雖塞村僻地ニ至リテハ送達甚困難ニシテ爲ニ一方ニ於テ得ル所ノ益ハ以テ一方ニ於テ失フ所ヲ償フニ足ラサルヘキ事等是ナリ然ルニ千八百八十二年ニ至リ議院ハ竟ニ小荷物郵便條例ヲ可決シ本年八月一日後實施スルコトナレリ

是ヨリ先キ英國ニハ未嘗テ小荷物運搬ノ良法アラサリシカタメ人民ノ不便少カラス蓋其ノ法絕エテ之ナキニハ非サレハ私立會社ノ運送ハ其ノ賃金過多ニシテ差出人ヨリ若干ノ賃ヲ拂ヒタル上又受取人ニテ若干ヲ拂ハサルヲ得サルノ勞アリ加之差出人ハ豫メ其ノ運賃ノ多寡ヲ知ルニ由ナク又何時間ニテ荷物ノ屆先ニ到着スヘキヤヲ知ルニ由ナシ故ニ社會ノ進歩ニ從ヒ荷物運送ヲ要スルコト日ニ多キヲ加フルニモ拘ラス世人ハ之ヲ急要トセス剩ヘ之ヲ不安心ナリトシ竟ニ運送ヲ托セサル者アルニ由リ荷物ノ個數自ラ減少スルノ勢アリト云フ程ノ事ナリシ因テ世人ハ政府ニテ此ノ事ヲ負擔スヘキコヲ切論シ一朝ニシテ積年ノ苦情ヲ消散セント希ヒタリシニ今ヤ初メテ此ノ事實行ノ日ニ逢ヒタレハ之カ便ヲ喜フ者多カルヘキハ疑ヲ容レサル所ナリ就中商業ニ關係アル人ハ一層ノ便利ヲ得ヘシ郵便局ノ豫算ニ據レハ商品ノ見本ノ如キハ今後一日ニ運送スル所從前一週間ニ運送シタル數ニ均シカルヘシト云フ然ラハ此ノ新法ハ商業繁昌ヲ助クルノ大ナル知ルヘキノミ獨リ商賈ノミ此ノ利益ヲ占有スルニ非ス世人一般モ亦當ニ大ニ其ノ益ヲ享クル所アルヘシ聞ク如クハ從前隔絕ノ地ニ在ル親戚朋友等ヘ贈物ヲ爲サント欲スルモ運送會社ノ不便ナルカタメ其ノ望ヲ達セサル者多カリシト然ルニ今回新設ノ規則ニ依レハ重量七斤已下ノ荷物ハ何レノ地方タリ𪜈通常郵便ノ通差出スコヲ得ヘク且豫メ其ノ荷物ハ相當ノ時間ニ到着シ而シテ居先ニテ復タ賃金ヲ拂フニ及ハサルコヲ豫知スルヲ得ヘシト思フニ現今英國內ニ在ル一万五千四百餘箇所ノ郵便局ハ何レモ小荷物受取方ヲ負擔スヘシ故ニ差出人ハ荷物ノ居先何地方タルヲ問ハス其ノ便宜ノ郵便局ヘ出スコヲ得ルハ最簡便ト云ヘシ例ヘハ倫敦ヨリ荷物ヲ蘇格蘭ヘ送ラント欲スル時差出人ハ之ヲ最近ノ郵便局ニ持參シ其ノ荷物ノ輕重ニ應シテ印紙ヲ貼付スレハ其ノ荷物ハ翌日相違ナク其ノ屆先ニ到達スヘシ此ノ如キ簡易ノ方法ハ世人ノ望ニ應シ將來荷物ノ運搬ヲ增加スヘキコト疑ナシ

私立運搬會社ハ郵便局取扱ノ影響ハ自ラ自家ノ營業ニ波及シ爲ニ損害ヲ被ルヘキハ必然ナルコヲ豫察シ某々ノ會社ニテハ早クモ既ニ運搬ノ賃額ヲ減シ競爭ヲ始メタリト云フ然レ𪜈從前ノ如シ距離ノ里程ニ應シテ其ノ多寡ヲ定ムルノ法ハ郵便局定ムル所一定ノ稅額遠近ヲ別タサルノ簡便ナルニハ若カサルヘシ

歐州大陸諸國ニ於テ鐵道ハ多ク政府ニ屬シ且私社ノ所有タリ𪜈之ヲ管理スルノ權ハ社主ニ在ラスシテ政府ニ在リト云フモ不可ナラス故ニ郵便荷物運搬ノ如キモ會社ハ唯政府ヨリ命スル所ヲ遵奉スルニ外ナラス然ルニ英國ニ於テハ大ニ之ニ異ナリ鐵道會社ハ尋常ノ營業組合ニシテ政府ニ關係ナシ因リテ一時ハ小荷物郵便條例ノ不可ナルヲ切論シテ其ノ實施ヲ妨ケント試ミタレ𪜈既ニ政府ニ抵抗スルノ念ヲ絕チ又政府ヨリハ鐵道會社ト寬裕ノ約ヲ結ヒ毎年鐵道ニテ運輸セシ荷物ニ係ル收入金高百分ノ十五ヲ鐵道會社ニ分與スヘキ筈ナリト聞ク蓋シ郵便局ノ勞ハ固ヨリ鐵道會社ノ勞ニ倍スルモ殆ト折半ノ大金ヲ鐵道會社ニ與フルハ政府ノ用意亦深キヲ見ルニ足ル尤鐵道運送ヲ要セ

第七拾六號　明治十六年九月二十七日

サル程ノ近地ナレハ郵便局一手ニテ送達スルハ勿論ナレ𪜈距離ノ地ニ送ルヘキ物ハ鐵道會社ニテモ之ヲ引受ケ輸送スル𪜈ナラン例ヘハ郵便局ハ荷物ヲ受取リ停車場ニ於テ之ヲ鐵道會社ニ交付スレハ會社ハ配達スヘキ地方ヲ區分シテ其ノ方面ニ運輸シ郵便局ハ到着ノ地ニテ復之ヲ受取リ其ノ名宛ヘ送達スヘシ

諸郵便局ハ大ニ場所ヲ廣メ且人員ヲ增加シタル由ナリ蓋八月一日ヲ以テ實施ノ初日ト定メタルハ倫敦府製革ノ時節ヲ過キタル後ニテ例年郵便局ノ事務減少ノ際ナルニ由リ此ノ閑時節ヲ以テ未慣熟セサル荷物取扱ヲナサハ澁滯ノ患ヲ生セサルカタメナルヘシ新設日尚淺ケレハ來荷物ノ個數ヲ精算スルヲ得ヘカラスト雖初日ヨリ頗ル夥多ナリシト云フ猶乙ニテハ小荷物ト書狀トノ數ヲ比較スレハ書狀貳拾通ニ付小荷物壹個ノ割合ナリト聞ク之ヲ實誌ナリトシテ他日英國亦此ノ比例ニ上ルヘシト豫想セハ一ケ年間郵便局ニテ取扱フヘキ小荷物ハ六千五百萬ノ多キニ至ルヘシ

小荷物郵便規則布令ノ大意ハ左ノ如シ

英國女皇ノ大藏省委員ハ郵便局條例ニ遵ヒ且委員ニ付與セラレタル權ヲ以テ陛下ノ驛遞總官ト協議シテ此ノ布令ヲ作リ左ノ件々ヲ命令シ且公告セリ

第一條荷物義解ノ事　此ノ布令中ニ小荷物ト稱スルハ合衆王國内ニ在ル兩地ノ間ニ郵便ヲ以テ運送スル所ノ諸荷物（郵便物ヲ除キ）ニシテ「小荷物郵便」ノ字ヲ記シ此ノ布令ニ遵ヒ相當ノ郵便税ヲ前拂スル者ヲ云フ

第二條寸尺量目ノ事　凡荷物ノ長サ二フィト「六インチ」ニ過キス或ハ長サ六フィト「フィト」ニ過キス又ハ七斤已上ノ重量アルモノハ郵便ニテ運搬セサル者トス

第二條小荷物運賃ノ事　凡此ノ布令ニ依リ郵便ニテ運送スル小荷物ニハ左ノ運賃ヲ課シ又之ヲ拂フヘシ

重量一斤已下ノ物一個ニ付	三片
一斤已上二斤已下ノ物一個ニ付	六片
二斤已上五斤已下ノ物一個ニ付	九片
五斤已上七斤已下ノ物一個ニ付	一志

第四條郵便税前拂ノ事　前條所記ノ郵便税ハ總テ郵便印紙ヲ以テ前拂スヘキ者トス

第五條郵便差出時限ノ事　郵便ニテ運送セントスル小荷物ハ日曜日ヲ除クノ外毎日差出スコヲ得ヘシ但シ英吉利愛蘭ニテハ耶蘇降誕日幷「グードフライデー」及蘇格蘭ニテハ宗教祭日兩日休暇タルヘシ尤將來右休日タリ𪜈受取配達スルヲ可トスルコアラハ驛遞總官ヨリ布告スヘシ

第六條差出方法ノ事　凡郵便ニテ運送セントスル小荷物ハ左記ノ手續ヲ以テ郵便局ニ於テ荷物受取時間ニ手渡スヘシ

第七條郵便局ヘ差出ノ事　郵便局ヘ差出サントスル小荷物ハ之ヲ郵便局事務取扱ノ吏員ニ交付スヘシ吏員ハ其ノ荷物ノ寸尺量目ヲ量リ（前記ノ寸尺量目ニ超過セサル時）前記ノ通リ郵便印紙ヲ貼付スヘシ此ノ手數ヲ經サレハ一切運送セサル者トス若シ寸尺量目ヲ量ラス印紙ヲ貼付セスシテ投置シタル小荷物アラハ郵便局ニ留置セ差出人ヘ返戻スルカ或ハ此ノ布令中ノ規則ニ從ヒ處置スルコヲ得ヘシ

第八條荷物取集ノ事　驛遞總官ハ適當ト思惟セハ時々方法規則ヲ設定シ吏員ニ命シテ小荷物受取ノコヲ掌ラシムルコヲ得ヘシ

第九條郵便局留置ノ事　凡郵便局留置ノ小荷物ハ名宛ノ郵便局ヘ到

着ノ翌日ヨリ毎一日一片ツヽノ手數料ヲ受取人ヨリ拂フヘシ（郵便印紙ヲ以テセス正貨ヲ以テ拂フ）但シ休暇日ノ分ハ拂フニ及ハス

第十條留置郵便荷物留置ノ事　凡郵便局留置ノ小荷物ハ（消失物アルヲ發見スルニ非サレハ）受取人來ラサル時ハ到着後二週間郵便局ニ留置キ規則ノ通處置スヘシ

第十一條配達無税區域外荷物ノ事　凡一市府一區内配達無税ノ區域外ノ地方ニ宛テタル荷物ハ（消失物アルヲ發見スルニ非サレハ）配達ノ機會ニ至ル迄二週間ハ最近ノ郵便局ニ留置クヘシ若シ二週間ヲ過キ受取人仍ホ來ラサル時ハ規則ノ通處置スヘシ

第十二條船舶ニ宛テタル荷物ノ事　凡合衆王國内諸港ニ碇泊スル船ニ宛テタル小荷物ハ（消失物アルコヲ發見スルニ非サレハ）其ノ屆先ニ配達スルコ能ハサル事故アル時ハ一ケ月間其ノ港内ノ郵便局ニ留置クヘシ此ノ時間ヲ經過シテ配達シ得サル𪜈ハ規則ノ通處置スヘシ

第十三條消失物荷物ノ事　凡留置ノタメ郵便局ニ宛テ或ハ一市府一區内配達無税ノ區域外ニ宛テ又ハ合衆王國内諸港ノ碇泊船ニ宛テタル小荷物ノ中ニ消失物アルヲ發見スル時ハ受取人ヘ交付シ若クハ配達濟ニ非サレハ到着後四十八時間名宛ノ郵便局或ハ最近ノ郵便局又ハ該港ノ郵便局ニ留置クヘシ（各其ノ場合ニ由ル）而シテ四十八時間ノ後ハ規則ノ通處置スヘシ

第十四條無配達荷物返戻並ニ取扱ノ事　（イ）凡留置ノタメ郵便局ニ宛テ或ハ一市府一區内配達無税ノ區域外ニ宛テ又ハ合衆王國内諸港ノ碇泊船ニ宛テタル荷物ニシテ此ノ條例ニ定ムル所ノ時間ニ受取人ニ交付シ若クハ配達シ得サル時（ロ）名宛正確ナラス或ハ現存セス又ハ見當ラス若クハ之ヲ受取ルヲ拒ムカ荷物ニ係ル税ヲ拂フヲ拒ムカ及其ノ他正當ノ事由アル時ハ左ノ通リ處置スヘシ

（第一）驛遞總官ヨリ時々命令ノ旨ニ從ヒ郵便局ニ留置クカ或ハ即時他ニ轉送スルカ若クハ必要ナラハ開封檢査スヘシ

（第二）差出人ノ姓名住所ヲ知ルコヲ得ル時ハ「受取人ナキニ由リ差出人或ハ其ノ代人郵便局ニ來ラハ之ヲ交付スヘシ」トノ旨ヲ差出人ニ郵報スヘシ差出人ノ望ニ因リテハ郵便ニテ之ヲ返戻スルコアルヘシ右ノ場合ニ於テハ後記ノ郵便税ヲ課スヘシ

（第三）荷物ニ據リテ差出人ノ姓名住所ヲ知ルコ能ハサル時ハ「受取人ナキニ由リ規則ノ税ヲ拂ヒ差出人又ハ其ノ代人受取ヲ申出ツレハ之ヲ交付スヘシ」トノ旨ヲ公告スヘシ（其ノ地方ニ張紙ヲ爲スカ又ハ驛遞總官ヨリ命スル所ノ方法ヲ以テス）

（第四）凡公告ニハ歷定ノ時間ニ驛遞總官ニ於テ該荷物ヲ交付スヘキ人ナリト信スヘキ者ヨリ引渡ノコヲ申出テサル時ハ驛遞總官命令ノ通處置スヘシトノ旨ヲ記載スヘシ

（第五）驛遞總官ハ公告ヲ以テ荷物差出人ヘ返戻スヘキ時間ヲ定メ又之ヲ定ムルニハ荷物封中ノ品ヲ披見スルコヲ命スルヲ得ヘシ

（第六）轉達税及其ノ他郵便條例幷ニ此ノ布令ヲ以テ定メタル通諸費ヲ差出人ヨリ拂フニ非サレハ其ノ荷物ヲ交付送却セサルヘシ

（第七）公告日ヨリ二日ヲ過キタル後留置ノ間ハ毎一日一片ツヽノ金高ヲ差出人ヨリ拂フニ非サレハ其ノ荷物ヲ交付送却セサルヘシ

（第八）差出人ヨリ郵便ニテ返戻ヲ請フモ更ニ規則ノ通郵便税ヲ拂フニ非サレハ返戻セサルヘシ此ノ場合ニ於テハ差出人ハ荷物ヲ受取ラサル前郵便印紙ヲ以テ前拂スヘシ

（第九）驛遞總官ハ荷物受取ヲ申出ツル者アル時十分ノ證據ヲ出サ

郵便報知新聞　976

ヲ為ルヲ得ヘシ

（第十）公告ヲ以テ定メタル時間ニ受取ヲ申出ツル者ナク又ハ申出ツルトモ驛遞總官之ヲ引渡スヘキ人ト認メス或ハ荷物ニ係ル稅ヲ拂ハス又之ヲ拂フヲ拒ムトキハ其ノ荷物ハ驛遞總官ノ命ニ從ヒ處置スルヲ得ヘシ

（第十一）驛遞總官留置ノ荷物ハ郵便局官員及其ノ他諸人幷ニ他ノ荷物ヲ毀害スヘキ場合ニ至ルトキハ仮令此ノ布令ニ定ムル所ノ通差出人ヘ返戻ノ順序ヲ終ラサルモ驛遞總官ノ命ニ從ヒ處置スルヲ得ヘシ

第十五條荷物ノ所宛書換ノ事　凡荷物合衆王國内ニ宛テタル者ハ更ニ合衆王國内他ノ所書ニ改換フルヲ得ヘシ此ノ場合ニ於テハ一タヒ所宛書換毎ニ更ニ最初拂ヒタル稅額ニ均シキ金高ヲ受取ルニ課シ受取ルハ正貨ニテ之ヲ拂フヘシ

第十六條所宛書換ニ係ル稅ヲ免除スル事　郵便局官員ハ再度屆先人ノ請ニ應シテ所書ヲ改換シ復最初宛名ノ人ニ郵送シ而シテ其ノ場所ハ再度屆先地ヨリ無稅配達ノ區域内ニ在レハ驛遞總官ハ其ノ轉達稅ヲ全ク免スルヲ得ヘシ

第十七條荷物領收證ノ事　凡郵便ニ差出ス所ノ小荷物ニハ郵便局官員ヨリ差出人及受取人等ニ之カ領收証或ハ郵便稅其ノ他課金ノ領收証ヲ與ヘサル者トス

第十八條禁止物ノ事　凡不正猥褻ノ繪畫、寫眞、石版、印刷書籍、牌子及其ノ他ノ物ヲ封入シ或ハ外包ニ用ヒ又ハ外面ニ之ヲ書キ之ヲ書シタル小荷物及毀損物等ハ一切郵便ニテ運送セサルモノトス又郵便局官員ニテ疑ヲ容ルヘキ理由アル荷物ハ留置開封撿査スヘシ若シ撿査ノ時右ノ規則其ノ他郵便諸規則ニ背クノ實アルヲ發見セハ驛遞總官ノ命ニ從ヒ處置スルヲ得ヘシ

第十九條禁止物ノ事　左記ノ物品ハ郵送セサル者トス

（イ）凡郵送ノ時間ニ郵便局官員其ノ他關係アル人ヲ毀傷シ或ハ袋、籠、箱及其ノ他郵送ノ諸荷物ヲ損害スヘキ品々

（ロ）流動物一切

（ハ）活動物一切

（ニ）凡郵送ノ時間ニ封入ノ物實或ハ包封ノ不行屆ナルカ為メ諸人幷ニ他ノ郵便物ヲ損害スヘキト驛遞總官及其ノ屬官ニテ思考スル品々

右ノ品々郵便ニ差出ス時ハ郵便局ニ留置差出人ニ交付又ハ返戻スルカ或ハ驛遞總官ノ命ニ從ヒ處置スルヲ得ヘシ

第二十條禁止物ノ事　凡一人ニ宛テタル一個ノ小荷物ノ内ニ別ニ他人宛ノ荷物幷ニ通常郵便物ヲ合封スヘカラス若シ右ノ荷物ヲ差出ス時ハ封中ノ荷物ハ其ノ名宛人ニ配達シ別ニ規則ノ稅ヲ課シ又通常郵便物ハ郵便印紙貼付ナキモノトシテ取扱ヒ相當ノ稅ヲ課スルカ或ハ驛遞總官ノ命ニ從ヒ處置スルヲ得ヘシ

第二十一條規則違背ノ事　凡此ノ規則ニ違背スル小荷物ハ驛遞總官ノ命ニ從ヒ處置スヘシ

第二十二條荷物安全保護ノ事　凡郵便局官員ハ小荷物ノ安全保護ノ為メ正當ノ時刻後ニ發送配達スルヲ要スル時ハ該官員ハ其ノ荷物發送、配達ヲ遲延スルカ或ハ時宜ニ由リ二十四時間内別段ニ發送配達スルアルヘシ

第二十三條荷物ハ書翰郵便ヲ妨ケサル事　凡郵便小荷物發送、配達ノ為ニ同時ニ發送、配達スヘキ書翰ヲ延引スルアル時ハ該荷物ハ次回ノ發送、配達時刻迄郵便局ニ留置クヘシ

第二十四條驛遞長官ハ荷物紛失ニ關係ナキ事　凡郵便局官員其ノ他ノ人怠惰ノ為メ或ハ其ノ取扱上ヨリ荷物ノ損害或ハ紛失ヲ為スコアリト雖モ之カ為メ起ル所ノ訴訟ハ驛遞總官一身上ニ於テモ又ハ其ノ職務上ニ於テモ一切關係ナキモノトス

第二十五條英佛間海峽諸島幷ニマン島ノ事　此ノ布令ヲ以テ英佛間海峽諸島幷ニマン島ハ合衆王國内ト看做スヘシ然レトモ此ノ地方ト合衆王國内ノ地方トノ間ニ運搬スヘキ小荷物ハ千八百八十二年郵便局條例第十五款ニ遵フニ非サレハ一切送達セサルヘシ

第二十六條郵便稅免除ノ事　凡驛遞總官ハ此ノ布令ニ從ヒ拂フヘキ郵便稅ヲ免除スルヲ以テ正當ト思考スル時ハ之ヲ免除スルヲ得ヘシ第二十七條布令實施初期ノ事此ノ布令ハ千八百八十三年八月一日ヨリ實施スヘシ

○氣象

○地理局報告

全國氣象摘要　氣壓ハ前八時及廿四時間ニ全北部ニ於テ沈下セリ殊ニ北海道ニ於テハ最モ多シ而シテ最高ハ極西部ニ在リ○靜穩或ハ東風吹キテ曇天ナリ而シテ南西部ハ餘程溫暖ナリ○昨朝來全北西部ニ於テハ小雨降リ或ル地方ニ於テハ今朝尚ホ歇マス

全國氣象九月廿六日　京都時午前六時東京時午前六時十六分　長崎時午前五時三十六分

測候所	一時雨計	一風向	一風力	一雨量	一溫度	一天氣
長崎	七六五？				一四	曇
鹿兒島	七六四				一七	曇
宮崎	七六四				一五	曇
高知	七六三				一六	曇
和歌山	七六三	東			一四	曇
廣島	七六四？	北			一七	曇
大坂	七六三	北東			一二	曇
京都	七六三				一〇	曇
下ノ關	七六四				一七	曇
堺	七六三				一二	曇
金澤	七六二	南東			一五	曇
岐阜	七六三				一三	曇
濱松	七六一	西			一六	曇
沼津	七六一	東			一二	曇
東京	七六一				一四	曇
新潟	七六一	南西			一四	雨
秋田	七六〇	東			一七	雨
野蒜	七六〇	北			一〇	曇
宮古	七六〇				八	曇
青森	七五九				六	曇
函館	七五八	北			九	曇
札幌	七五六	東			七	霧

例言　晴雨計ハ佛里ミリメートルヲ用フ○風向ハ眞方向ヲ示ス○風力ハ配方零ヨリ六ニ至ル（○ハ靜穩一ハ軟風二ハ和風三ハ疾風四ハ強風五ハ暴風六ハ颶風）ヲ示ス○雨量ハ前二十四時間ノ量ヲ佛里ミリメートルヲ以テ示ス○溫度ハ陰所ニ於テ攝氏ノ度ニ從フ（氷點ハ○氷點上ノ十及二十度ハ一〇及二〇氷點下ノ十及二十度ハ九〇及八〇）

○海軍觀象臺報告

九月廿六日　午前三時　仝　九時　午後三時

風雨鍼	英寸	廿九寸九四八	廿九寸九六九	廿九寸八九四

寒暑鍼	華氏	五十八度九	六十二度七	七十度〇
濕氣	一ヨリ百ニ至ル	八十九	七十二	六十〇
風 方位	八點ニ區分ス	北	北	北
風 速力	英里	五里	七里	二里
天候	陰部一ヨリ十ニ至ル	曇天 陰部九	曇天 陰部十	曇天 陰部十

記事

寒暑鍼高極七十度九 低極五十七度三（午前零時ヨリ午後二時ニ至ル間ノ實驗）

天候ハ昨午後二時後薄陰同五時頃暫時疎雨シ同八時頃ニ至リ稍晴ヲ呈スト雖モ同十時過ヨリ復曇リ本日ニ至リ尚曇天風ハ昨午後方位南東ヨリ俄然北ニ逆轉シ速力ハ稍軟同二時後今正午ニ至ル平均五里強風雨鍼ハ稍低シト雖モ敢テ大差ナシ

○廣告

○廣告

官報購讀義務者外ニシテ官報代金三圓ヲ納メ每號壹部送リ即チ初號ヨリ百號迄遞送約定ノ分ハ來ル十月廿二日滿期ニ付引續購求又ハ解約トモ來ル十月十五日迄ニ當局ヘ到達ノ日割ヲ以テ通知有之度此旨廣告候事

明治十六年九月廿七日　驛遞局

○廣告

本月廿一日以后清國通州ヘ通信ヲ開キ電報料壹語ニ付通州上海間ノ分墨銀四拾仙ト相定候ニ付之ニ上海迄ノ料金ヲ併加徵收ス但北京ヘノ電報ヲ通州ヨリ郵送セント欲セハ必ス「通州ヨリ郵送」ナル語辭ヲ記入課金セシメ外ニ一通ニ付郵送賃墨銀四拾四仙ヲ徵收ス

右瑞西國萬國電信事務局ヨリ通知有之候條此旨廣告候事

明治十六年九月　電信局

○廣告

去ル明治十五年內國繪書共進會開設ノ際各府縣ヨリ差出シタル出品人履歷書ノ內獨リ養父ノ名ノミ記載シテ實父ノ名ヲ脫シ又其經歷ヲ揭ケルヤ疎漏若クハ錯雜ニシテ事實ヲ辨シ難ク爲メニ纂輯上完全ナルヲ得サルモノアリ依テ來明治十七年四月開設スヘキ仝會ヘノ出品者ハ最モ注意シテ完全合式ノ履歷書ヲ差出スヲ要スヘシ

此旨廣告ス

明治十六年九月廿六日　農商務省　博覽會掛

○浮標流失廣告

羽後國船川港浮標昨廿三日流失セリ此段廣告ス

追テ舊位置ヘ再度硯置ノ節ハ更ニ廣告スヘシ

明治十六年九月廿四日　橫濱燈臺局

○橫切下水新設請負入札廣告

青梅街道東多摩郡阿佐ケ谷村ヨリ上井草村迄之內橫切下水五ケ所新設

右請負望之者ハ府廳土木課又ハ該地戶長役場ヘ申出入札請負規則幷ニ仕樣書現場共熟視之上來ル十月一日正午十二時迄ニ兩所便宜之場所ヘ入札差出スヘシ此旨廣告ス

但シ十月三日午前第九時開札之事

明治十六年九月廿七日　東京府廳

○郵便船出帆廣告

本日午前八時五分本局締切越後丸ヲ以テ神戶ヘ向ケ郵便差立候事

本日午後二時三十分本局締切靑龍丸ヲ以テ四日市ヘ向ケ郵便差立候事

明廿八日午後一時本局締切越中丸ヲ以テ神戶ヘ向ケ郵便差立候事

明治十六年九月廿七日。　驛遞局

第76号

官報第七拾六號附錄

明治十六年九月二十七日

東京府甲第五十四號別紙

酒造營業人心得書

第一章　營業免許

第一條　酒造ノ營業セントスル者ハ其免許鑑札下渡及ヒ書替トモ其所轄郡區役所ニ出願スヘシ

第二條　酒造場ハ倉庫ノ棟數ト製酒ノ種類トヲ問ハス都テ其一區域ヲ以テ一ケ所トシ免許鑑札ヲ願受ク可シ

第三條　營業者ノ族籍住所ト酒造場ト甲乙郡區ニ交渉スルモノハ酒造場所在ノ郡區役所ニ就キ鑑札ヲ願受ク可シ

第四條　免許鑑札ハ其年一期有効ノモノトス故ニ引續キ營業スルモノハ最前授與シタル鑑札ヲ差出シ更ニ免許ヲ請フヘシ郡區役所ニ於テハ其鑑札裏面ヘ該期ノ免許証印ヲ捺シ再ヒ之ヲ下附スヘシ

但鑑札裏面餘白尽キタルトキハ更ニ新鑑札ヲ下渡スヘシ

第五條　稅則第六條免許鑑札賣買讓與ノ節若シ甲乙郡區ニ交渉スルトキハ双方連署ノ書面ニ免許鑑札ヲ添ヘ甲郡區役所（賣渡讓渡人所在ノ郡區役所）ヘ願出添翰ヲ申受ケ乙郡區役所（買受讓受人所在ノ郡區役所）ヘ差出シ鑑札書替ヲ請フヘシ

但酒造場轉換等ノ爲メ鑑札書替ヲ要スルトキ甲乙郡區ニ交渉スルモノモ亦本條ノ手續ニ據ルヘシ

第六條　廢業ノ者其所轄郡區役所ヘ届出ノ節直ニ免許鑑札ヲ返納スヘシト雖モ一時休業スルカ如キハ豫テ其旨届出置キ其年九月二十日ニ至レハ必ス鑑札ヲ返納スヘシ

第七條　稅則第二十六條免許ヲ得タルモノハ該一期造酒見込ノ種目石數幷ニ其醸造方法共第一號雛形ニ倣ヒ當廳ヘ届出ヘシ

但稅則第十八條造石稅免除ノ酒類ト雖モ本條ニ據リ届出ツルハ勿論一期製造ノ分ハ其石數取調翌期十月中届出ツヘシ

第八條　前條造酒見込ノ種目トアルハ清酒濁酒燒酎酒精白酒味淋ト其種目毎ニ掲記シ且ツ銘酒ハ直酒保命酒桑酒養老酒紫蘇酒霞酒南蠻酒等各其酒名ヲ分記スヘシ

但種目變換又ハ石數增減等アルトキハ其時々當廳ヘ届出ヘシ

第九條　稅則第二十七條酒造ニ屬スル倉庫納屋ハ其實況詳細繪圖面ニ製シ諸器械ハ第二號雛形ニ倣ヒ當廳ヘ届出ヘシ

但調書中增減及ヒ變換等アルトキハ共時々更ニ調書ヲ製シ引替ヲ請フヘシ

第十條　稅則第二十八條戸外ニ掲出スヘキ標札ハ第三號雛形ニ倣フヘシ

但石數ハ最前届出ノ見込高ヲ掲記シ增減アルトキハ其時々紙札ヲ貼付シ之ヲ更訂スヘシ

第二章　諸器械撿査

第十一條　稅則第二十條ノ酒造用諸器械ハ撿査ノ上當廳ノ撿印ヲ烙記スルモノトス

第十二條　諸器械ノ內桶類ハ左ニ掲クル所ノ丈量法及算則ニヨリ撿査ヲ遂ケ撿査員ニ於テ其前面ヘ左ノ件々ヲ掲載シ撿印ヲ烙記スルモノトス

付録

但輪替等ニヨリ減縮ヲ生スル節ハ更ニ檢査ヲ受クヘシ

酒桶前面書式

口徑　何程
胴徑　何程
底徑　何程
深サ　何程
但口頭ヨリ一寸ヲ減ス
石數　何程
調査ノ年月日
調査人官姓名

酒造桶類丈量法

口徑（口頭ヨリ一寸下リタル个所）胴徑（口底ノ中央）底徑（底板面ノ箇所）ハ孰レモ內側リニテ縱橫⊕圖ノ如ク此縱橫徑ヲ和シ之レヲ二ニテ除キ以テ定ムル深サハ其酒桶ノ前呑口等適宜ノ箇所後（其背後）孰レモ底ヨリ口徑迄ノ間ヲ丈量シ此前後ノ尺度ヲ和シ之ヲ二ニテ除キ以テ定ムルモノトス

但尺度ハ孰レモ曲尺ヲ用ヒ分位ニ止メ以下切捨ツヘシ

算則

口胴底ノ三徑ヲ各個自乘シ此三個ヲ和シ之レヲ三ニテ除キ以テ實トス之ニ深ヲ乘シ又圓積率七八五四ヲ乘シ而シテ升法六四八ヲ以テ除キ其容量ヲ得ル

但石數ハ合位ニ止メ勺以下切捨ツヘシ

第十三條　瓶類容積ハ總テ桶類ニ準シ之ヲ定ムト雖モ其準シ難キモノハ便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ查定スルモノトス

但適宜木札ヲ製シ番號石數等ヲ第四號雛形ノ如ク記載シ瓶ノ前面ニ附ケ置クヘシ

第十四條　桶瓶類ノ番號ハ倉庫ノ數ト酒類ノ種別トニ拘ハラス總テ酒造場一ケ所每ニ起號シ桶瓶類ノ總數ニ應シ其順次ヲ定ムルモノトス

第十五條　柏桶水桶米浸シ桶ノ類ニハ全ク酒類ヲ容レサル分ハ丈量ニ及ハスト雖モ番號（前條桶瓶類ノ番號順號ヲ逐フ）ヲ記載シ之ニ撿印ヲ受クヘシ

第十六條　撿查濟ノ桶類ハ第五號雛形ノ如ク豫テ調查簿甲乙二帳ヲ調製シ增減アルトキハ當廳撿查員ニ於テ詳細之ニ記入ス故ニ營業者ハ其都度調印スヘシ

但甲帳ハ當廳ニ備置キ乙帳ハ營業者ヘ下渡シ置クヘシ

第十七條　撿查濟ノ諸器械ヲ賣與讓與貸與及其所持主ヘ返却セントスルトキハ其旨双方連署ノ書面ヲ以テ當廳ニ届出指揮ヲ受クヘシ

但諸器械ヲ同業者ニ非ラサル者ヘ賣渡スカ又ハ破壞等シタルトキハ烙印ヲ削リ取リ書面ニ添ヘ當廳ヘ届出ヘシ

第三章　器械封開

第十八條　稅則第二十五條器械ノ封緘ハ搾リ器械ハ酒槽ノ樋口幷男柱ノ孔蒸溜器械ハ兜釜等ヘ當廳撿查員封緘ヲ爲シ常ニ之ヲ用ユルヲ許サス因テ使用或ハ洗滌セントス欲スルトキハ其旨申出開封ヲ請フヘシ

但封緘ニハ堅牢ナル繩類ヲ用ユ且ツ封紙ハ當廳ノ印章ヲ捺シ年月日ヲ記シタルモノヲ用ヒ撿查員之ニ捺印スルモノトス

第十九條　開封ヲ願出ツルトキハ撿查員直ニ出張シ使用又ハ洗滌ノ日數ヲ計查シ至當ト思惟スルトキハ其封緘ヲ開披スヘシ

但使用等ノ日數盡キタルトキハ前條ノ手續ニ據リ更ニ封緘スルモノトス

第二十條　封緘請書ハ第六號雛形ノ如ク豫テ調製シ封緘及開披ノ年月日幷ニ使用等ヲ許シタル日數ヲ撿查員ニ於テ詳細之レニ記入ス故ニ營業者ハ其都度調印スヘシ

第四章　造石撿查

第二十一條　酒造季節中ハ管內ヲ五部ニ分チ每部ニ當廳ヨリ撿查員二名乃至三名ヲ派遣シ酒造撿查ニ關スル一切ノ事務ヲ取扱ハシムヘシ

第一部　日本橋區　淺草區
　　南足立郡
第二部　京橋區　芝區　麻布區
　　荏原郡
第三部　神田區　麹町區　赤阪區
　　四谷區　東多摩郡　南豐島郡
第四部　本鄕區　下谷區　小石川區
　　牛込區　北豐島郡
第五部　本所區　深川區
　　南葛飾郡

第二十二條　酒「もと」立ノ節ハ第七號雛形ニ倣ヒ及釀造法ハ初度ニ度ト區別ヲ爲シ第一號乙雛形ニ準據調製シ都テ着手五日前當廳ヘ届出ヘシ

第二十三條　「もと」「もろみ」及ヒ製酒モ前條ニ準シ届出且ツ撿查ヲ受クヘシ

但撿查員ハ本條ノ届出ヲ俟タス時々巡視スルコトアルヘシ

第二十四條　酒「もと」ヲ醱麹營業者ヨリ買受ケ使用セントスルトキハ前條ノ手續ニ據ルヘシ

第二十五條　造石撿查ヲ受クヘキ酒類ハ桶瓶等口頭ヨリ一寸ヲ減シ入置クヘシ

但端石數ノモノハ可成一本ノ桶ニ纏メ置クヘシ

第二十六條　造石撿查ノ節ハ每桶查定ノ石數ヲ通算シ總石數ヲ定ムヘシト雖モ其查定ノ石數ニ充タサルモノハ現在ノ入實ニ就テ其石數ヲ調查スルモノトス

第二十七條　撿查濟ノ酒類ハ其石數桶號及ヒ撿查ノ年月日等ヲ紙片ニ記シ撿查員捺印シテ下渡スヘキニ付該桶ノ前面ニ貼付スヘシ

但桶蓋ニハ撿查員封緘ヲナスモノトス故ニ上口ヨリ出入ノ節ハ開封ヲ申出ツヘシ

第二十八條　白酒味淋銘酒等ノ製造元ニ用ユル爲メ釀造及蒸溜スル酒類ト雖モ必ラス當廳ヘ届出撿查ヲ受クヘシ

第二十九條　酒類ノ火入滓引等ハ造石撿查ノ後之ヲ爲スヘシ

第三十條　古酒買入酒ト雖モ取締上臨時撿查スルコアルヘシ故ニ營業者ニ於テハ帳簿ヲ製シ其石數桶號等ヲ詳記シ置クヘシ

但買入酒ハ其石數及代價等ヲ詳記シタル仕切書又ハ送狀ヲ取置キ撿查ノ節參照ニ供スヘシ

第三十一條　撿查濟ノ酒類及ヒ古酒買入酒ヲ粕漉シ又ハ焚込ニスルトキハ其時々前以當廳ニ届出撿查ヲ受クヘシ

第三十二條　稅則第十四條及第十五條ノ撿查未濟既濟ノ酒類ヲ他ノ酒類ニ變製セントスルトキハ更ニ變製酒ノ種目幷ニ石數等詳記シタル書面ヲ以テ當廳ヘ届出且ツ變製セントスル酒類ハ前以撿查ヲ受ケ製成ノ上ハ再撿查ヲ受クヘシ

但第二十四條ノ酒類幷「もと」「もろみ」ヲ他ノ酒類ニ變製スルモ本條ノ手續ニ據ルヘシ

第二十三條　酒「もと」ノ質軟弱ニシテ其用ニ立タサルヨリ潰シ酛ニナサントスルトキハ其旨當廳ヘ届出撿查ヲ受クヘシ

第三十四條　稅則第十六條酒類幷ニ「もと」「もろみ」非常ノ損害ニ罹リタル節ハ其石數及實況ヲ詳記シタル書面ヲ以テ速ニ當廳ヘ屆出捻査ヲ受クヘシ

第三十五條　前條ノ酒類「もと」「もろみ」ヲ他ノ酒類ニ變製スル能ハス、シテ酢及ヒ醬油製造人等ヘ賣却スルトキハ賣買主ノ連署ヲ以テ當廳ヘ屆出ヘシ

第三十六條　稅則第五條ニ依リ代人ヲ置キタルトキハ其旨速ニ當廳ヘ屆出スヘシ

第三十七條　造酒撿査簿ハ第八號雛形ノ如ク酒造場毎ニ豫テ甲乙二帳ヲ製シ撿査員ニ於テ酒造ニ關スル倉庫其他納屋及ヒ諸器械「もと」「もろみ」造酒古酒買入酒等撿査シタルモノヲ之レニ詳記ス故ニ營業者ニ於テハ其都度調印スヘシ

但甲帳ハ撿査員之ヲ提携シ乙帳ハ營業者ニ下付シ置クヘシ、

第三十八條　酒造營業者ハ左ニ揭クル所ノ帳簿ヲ製シ精密記載シ造石撿査ノ節參照ニ供スヘシ

酒造米買入帳　　搗米帳
醸造日記　　杜氏仕込帳
酒藏出帳　　酒賣上帳
酒貸帳　　酒藏米仕拂帳
杜氏幷ニ日雇給料帳　　荷物判取帳
金錢判取帳　　樽貸帳
積出帳　　酒粕糠賣拂帳
酒造諸器械賣買扣帳　　酒粕目方扣帳

此他麥粟甘藷麹ノ類銘酒ニ調和スヘキ品類買入帳等一切

第三十九條　各酒舊造ニ至レハ其旨當廳ヘ屆出舊造撿査ヲ受クヘシ

第四十條　稅則第十八條造石稅免除ノ酒類ト雖モ臨時撿査員點撿スヘシ

第五章　納稅區別

第四十一條　造石稅納期以前免許鑑札及ヒ諸器械ヲ賣與讓與シ又ハ廢業スル者ハ撿査濟酒類ニ係ル造石稅ハ其節之レヲ完納スヘシ

第四十二條　營業中都合ニヨリ若クハ免許鑑札賣買讓與又ハ廢業等ノ節未製成ノ酒類ヲ營業者ニ賣渡スルトキハ雙方連署ノ書面ヲ以テ屆出撿査ヲ受ケ現石數ニ就キ第二條ノ類別ニ依リ第二條ノ造石稅ヲ納メ且ツ買受人ニ於テ製成ノ上ハ更ニ又撿査ヲ受ケ其酒類ニ係ル造石稅ヲ納ムヘシ

第四十三條　營業中都合ニ依リ若クハ免許鑑札賣買讓與シ又ハ廢業等ノ節未製成ノ酒類（酒醪ヲ除ク）ヲ同業者ニ非サル者ニ販賣スルトキハ稅則第二條ノ類別ニ依リ第二條ノ造石稅ヲ納ムヘシ

第四十四條　稅則第十五條撿査濟ノ酒類ヲ變製（第一類酒ヲ二類酒ニ二類酒ヲ三類酒ニ變製スルトキハ該條ニ據ルヘシト雖モ一酒類中ノ變製（濁酒ヲ清酒ニ味淋ヲ銘酒ニ變製スルノ類ニ係ルトキハ單ニ其變製シタルモノニ就テ造石稅ヲ納ムヘシ）

第四十五條　白酒味淋銘酒等ノ醸造元ニ用ユル爲メ醸造及ヒ蒸溜スル酒類ハ免稅タリト雖モ其儘販賣セントスルモノハ更ニ撿査ヲ受ケ該酒類ニ係ル造石稅ヲ納ムヘシ

第一號

造酒見込種目幷醸造方法御届

何郡區村町何番地
何　某

第一類

一清酒造石何程
此元玄米何程
白米何程

一濁酒造石何程
此元玄米何程
白米何程

一燒酎蒸溜高何程
此酒粕何程　（酒粕十貫目ニ付何度燒酎何程垂
但酒精再醸酒精モ之レニ準ス

（粳米麥及ハ其他ノ物ヲ以テ醪ヲ製シ或ハ麁造ノ清酒燒酎等ヲ以テ蒸溜スルモノモ右ニ準シ記載スヘシ）

第二類

一燒酎蒸溜高何程
此酒粕何程　（酒粕十貫目ニ付何度燒酎何程垂
但酒精再醸酒精モ之レニ準ス

（粳米麥及ハ其他ノ物ヲ以テ醪ヲ製シ或ハ麁造ノ清酒燒酎等ヲ以テ蒸溜スルモノモ右ニ準シ記載スヘシ）

第三類

一白酒造石何程
此元玄米何程　（元玄米一石ニ付元酒類何程白酒何程垂
白米何程

一味淋造石何程
元玄米何程
此白米何程　（燒酎一石ニ付元玄米何程味淋何程垂
元燒酎何程
但酒酒銘酒等モ之ニ準記載スヘシ

第一號乙

清酒何石仕舞醸造方法

| | | |

第二號

酒造諸器械調

一酒槽	何	個	
一層枠	何	個	
一男柱	何	本	
一締メ木	何	本	
一掛ケ袋	何	個	
一垂り瓶	何	個	
一蒸溜器	幾	組	
一甑	幾	組	
一甑	何	個	
一暖氣樽	何	個	
一蒸釜	何	個	
一半切桶	何	個	
一試シ桶	何	個	
一桃桶	何	個	
一擔桶	何	個	
一摑抱	何	個	
一麹板	何	枚	

右ノ外酒造ニ關スル諸器械ノ悉皆記載スヘシ

酒造ニ屬スル諸器械則今所持之分前記之通相違無之候尤以後增減有之節ハ其時々御屆可仕候也

明治何年何月何日

何國郡區町村番地
酒造營業人　何　某印

東京府知事宛

郡ハ戸長
區ハ區長　何　某印

第三號

寸法竪巾曲尺三尺横巾製酒種類ノ數ニ依リ適宜定ムヘシ免許鑑札ノ番號

第何號

清酒何石造
白酒何石造

何郡區町村何番地
何　某

第四號

第何號

石數何石何斗何升何合

明治何年何月何日

府廳焰印

調査ノ年月日

第五號

調査簿甲乙ト押切ルモノトス

官廳押切印

酒桶瓶類容量調査簿

何區郡町村番地
何　某

凡例

一許規買受讓受借受等ハ桶瓶揭載ノ番號ニ從ヒ順次之ヲ記入スヘシ
但シ借受ノ分ハ區別判明ナラシメンカ爲メ特ニ朱字ヲ用フヘシ

一輪替ハ其號欄内中次項ヘ更ニ記入シ前檢查ノ項ヘハ斜線ヲ朱記シ之ヲ消却スヘシ

一貸渡ハ其號欄内ニ掛紙ヲ附シ置キ追テ返戻ノ節之ヲ剝去ヘシ

一賣渡讓渡破解並ニ借受ノ分返却等ノ節ハ其欄内ヘ斜線ヲ朱記シ消却スヘシ

一粕桶水桶等番號ノミ揭載ノ分モ總テ本簿ニ記入スヘシ

一前件々記載ノ節ハ雛形ニ準シ其事故詳細記入スヘシ

一記入ノ上ハ檢查濟ノ証トシテ雛形中㋑印ノ箇所ヘ主任官見認印ヲ捺シ㋺印ノ箇所ヘ營業人ノ實印ヲ捺セシムヘシ
但シ借受貸渡等ハ營業人屆出ノ書面ニ就テ記入シ㋑印ノ箇所ヘ主任官ノ見認印ヲ捺スヘシ

用紙美濃紙

免許鑑札番號　第　何　號

所　居　營業人姓名

何國何郡何區何町村何番地　何某〇

桶番號	口徑	胴徑	底徑	深	石數	檢查年月日	事故
第何號	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何拾何石何斗何升何合	明治何年何月何日	新規檢査
第何號	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何拾何石何斗何升何合	明治何年何月何日	輪轉檢査
第何號	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何拾何石何斗何升何合	明治何年何月何日	破壞消却
第何號	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何拾何石何斗何升何合	明治何年何月何日	何府縣國郡區町村何番地何某ヨリ買受又ハ讓渡
第何號	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何拾何石何斗何升何合	明治何年何月何日	何府縣國郡區町村何番地何某ヨリ貸渡又ハ讓渡
第何號	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何拾何石何斗何升何合	明治何年何月何日	新規檢査 但水桶鉢桶ニ付番號ノミ記入
第何號	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何拾何石何斗何升何合	明治何年何月何日	何府縣國郡區町村何番地何某ヨリ借受
第何號	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何拾何石何斗何升何合	明治何年何月何日	何府縣國郡區町村何番地何某ヘ返却

第何號	第何號	第何號	第何號	第何號	第何號	第何號
何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分
何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分
何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分
何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分	何尺何寸何分
何拾何石何斗何升何合	何拾何石何斗何升何合	何拾何石何斗何升何合	何拾何石何斗何升何合	何拾何石何斗何升何合	何拾何石何斗何升何合	何拾何石何斗何升何合
明治何年何月何日 新規檢査	明治何年何月何日 新規檢査	明治何年何月何日 新規檢査	明治何年何月何日 新規檢査	明治何年何月何日 新規檢査	明治何年何月何日 新規檢査	明治何年何月何日 新規檢査
明治何年何月何日 何府縣國郡區町村何番地何某ヨリ買受又ハ讓渡	明治何年何月何日 何府縣國郡區町村何番地何某ヨリ貸渡又ハ讓渡	明治何年何月何日 新規檢査 但水桶鉢桶ニ付番號ノミ記入	明治何年何月何日 何府縣國郡區町村何番地何某ヨリ借受	明治何年何月何日 何府縣國郡區町村何番地何某ヘ返却		

明治何年何月何日　府縣國郡區町村番地何某ヘ貸渡ス㊞

許鑑札

第六號

造酒搾り器械封緘請書

何區郡町村番地
何　某

凡例

本表ハ封緘幷解封ノ都度雛形中朱書ノ通記入ノ上共証トシテ㋑印ノ箇所ヘ檢査員ノ見認印ヲ捺シ㊐印ノ箇所ヘ營業人ヲシテ調印セシム

用紙美濃紙

御請書

蒸溜器械請書モ本書式ニ傚ヒ別冊ニ製スヘシ

私所持ノ造酒搾り器械左之箇所ヶ々御封印相請候ニ付右器械使用洗滌之節ハ御成規之通其官御屆仕御解封可願上尤御解封ノ上ハ左ニ掲クル日數中必使用洗滌ヲ相了り御屆ノ上御再封相請可申候仍テ御封緘並ニ御解封ノ都度其年月日　日數ヲ左ニ掲記シ御請印仕候也

何府縣國郡區町村番地
酒造營業人
何　某　印

明治何年何月何日

一酒槽樋口　壹ヶ所　一男柱孔　壹ヶ所

御封緘年月日	御封印解披年月日	器械使用洗滌日數
㋑明治何年何月何日㊐明治何㋑年何月何日使用	明治何年何月何日ヨリ㊐マデ何日間	
㋑明治何年何月何日㊐明治何㋑年何月何日洗滌	明治何年何月何日ヨリ㊐マデ何日間	

第七號

第二回三回トモ順序ヲ追ヒ之レニ傚スヘシ

第一回酛取御届

何郡區町村何番地
何　某

一何斗酛　何箇
此　玄米　何程
　　白米　何程
　　水量　何程
製成高凡何程

右ハ何酒製造元トシテ來ル何月何日ヨリ釀造着手仕候此段御届申上候也

年月日

右
何　某　印

東京府知事殿

第八號

管廳押切印

明治何年度清酒造石檢査簿

檢査簿甲乙ト押切ルモノトス

何區郡町村番地
何　某

凡例

本表ハ造石檢査ノ都度朱書ノ通り順次記入シ且ツ其証トシテ㋑印ノ個所ヘ主任官ノ見認印ヲ捺シ㊐印ノ個所ハ營業人ヲシテ調印セシム

但シ清酒外ノ酒類ト雖モ渾テ本表ニ準ス

用紙美濃紙一

營業免許鑑札番號　營業人居所　營業人姓名

第　何號　何國何郡何町何村何番地　何某

| | | |

何年度清酒釀造法

酒もと檢査

仕込號數	酒もと	添	中	添	留	計
仕込月日	何月何日	何月何日	何月何日	何月何日	①月㊁日	
數	米何斗	何石	何石	何石	何石	
	蒸米何斗	何石	何石	何石	何石	
	麹米何斗	何石	何石	何石	何石	
	仕込水何斗	何石	何石	何石	何石	

もと立檢査

順號	もと立檢査	全上ヲ以テ仕込ミタルもろみ順號
水もと	何號ヨリ何號マテ何個	
生もと	何號ヨリ何號マテ何個	

一もとノ釀造法

もと立檢査	全上使用テ分數
年月日	年月日
仕込 蒸米何斗 麹米何斗 水何斗	明治何年何月何日
數	明治何年何月何日
	何號ヨリ何號マテ

もろみ檢査

清酒檢査

仕込順號	桶號	石數	檢查月日	檢查年	仕込順號	桶號	石數	檢查月日	檢查年
何號又ハ何號ヨリ何號マテ	數	何拾何石	明治④何月何日	何年	何號又ハ何號ヨリ何號マテ	數	何拾何石	明治④何月何日	何年
合計		何百何拾何石			合計		何百何拾何石		

第 976 号
付箋

東京府甲第五拾五號別紙

自家用料酒類製造者心得書

第一條　酒造稅則附則第一條自家用料ノ酒類ヲ製造スル者ハ免許鑑札下渡及書替再渡トモ其所轄郡區役所ヘ出願スヘシ

但鑑札料ハ鑑札授與ノ節相納ムヘシ

第二條　免許鑑札ハ其年一期有効ノモノトス故ニ引續製造スル者ハ最初授與シタル鑑札ヲ差出シ更ニ免許ヲ請フヘシ郡區役所ニ於テ其鑑札裏面ヘ該期ノ証印ヲ捺シ之ヲ下附スヘシ

但鑑札裏面餘白尽キタル時ハ更ニ新鑑札ヲ下渡スヘシ

第三條　免許ヲ得タル者ハ其造酒ノ種目及ヒ石數ヲ別紙雛形ニ倣ヒ調製シ當廳ヘ届出ツヘシ

但種目變換及ヒ石數增減ノ節ハ其都度届出ツヘシ

第四條　造酒石高ハ臨時檢查員ヲ派遣シ檢查セシムルニ付其酒醅麴掛米汲水等仕込ノ都度帳簿ニ詳記シ置キ檢查ノ節參照ニ供スヘシ

但帳簿記載ノ廉至當ト認ルトキハ檢查員ニ於テ捺印スルモノトス

第五條　造酒高壹石ヲ超過スルモノハ酒造稅則ニ從フハ勿論尙本年當廳甲第五十四號布達酒造營業人心得書ニ準據スヘシ

自家用料酒見込石高御届

何郡區村町番地

何某

第一類

一清酒何斗　但玄米何斗ニ付清酒何程歩

此元玄米何程　白米何程

（濁酒ハ之レニ準シ記載スヘシ）

第二類

一燒酎何斗　但粕何貫目ニ付燒酎何程歩

此酒粕何程

（粉米麥及ヒ其他ノモノヲ以テ元ヲ製造スルモノハ其元玄米白米水量幷ニ其出來高ヲ掲クヘシ但酒精モ之レニ準ス）

第三類

一味淋何斗　但元燒酎何斗ニ付元玄米何程　味淋何程歩

此元玄米何程白米何程　元燒酎何程

（直酒酌酒白酒等渾テ之レニ準シ記載スヘシ）

右ハ自家用料酒當何年度一期見込石高書面之通御届仕候也

年月日　右　何某印

東京府知事宛

郡ハ戸長　何某印

區ハ區長　何某印

許可 97 写